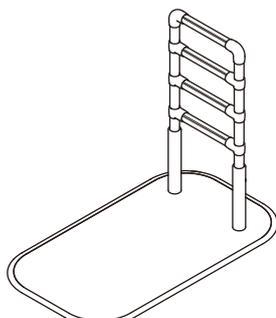
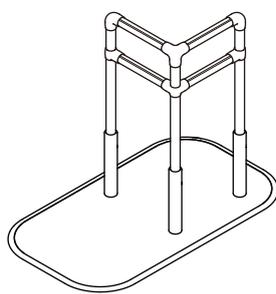


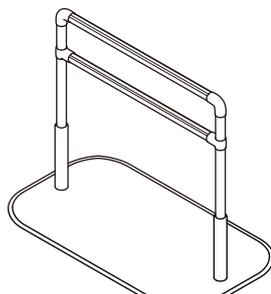
CKA-11



CKA-12



CKA-13



CKA-14

目次

！安全に関する表示	2
1. メンテナンスの目安	2
2. メンテナンス方法	3
3. 消毒方法	5
4. メンテナンス部品表	6

お買い上げありがとうございます

販売店様：このメンテナンスマニュアルを必ずお読みになり大切に保管してください。

！安全に関する表示 ※いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。	 禁止	してはいけない内容です。
 <b>注意</b>	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。	 必ず守る	必ず守っていただく内容です。

## 1. メンテナンスの目安

場 所	状 態	対 処 方 法
全体	汚れ	2. メンテナンス方法 [1] 拭き取り
	ガタつきがある	2. メンテナンス方法 [2] ねじのゆるみ点検 [9] 部品交換
	部品の変形、深いキズ、亀裂	2. メンテナンス方法 [9] 部品交換
	部品がうまく取り付けられない	2. メンテナンス方法 [3] 取付方法の確認 [9] 部品交換
	ねじがスムーズに回らない	2. メンテナンス方法 [9] 部品交換
ベース	錆	2. メンテナンス方法 [4] 錆の除去 [9] 部品交換
	縁ゴムの外れ、破損	2. メンテナンス方法 [5] 縁ゴムの再接着および交換 [9] 部品交換
スタンド	塗装面のキズ、塗装の剥がれ	2. メンテナンス方法 [6] 塗装面の補修
手すりフレーム	ジョイントの外れ	2. メンテナンス方法 [9] 部品交換
	手すりフレームのガタつき	2. メンテナンス方法 [2] ねじのゆるみ点検 [7] 手すりフレームを逆に取り付ける (CKA-11、CKA-12、CKA-14) [9] 部品交換
マット	マットの剥がれ、汚れ	2. メンテナンス方法 [8] マットの洗濯 [9] 部品交換

※メンテナンスの目安については、メンテナンスチェックシートも併せてご確認ください。

## 2. メンテナンス方法

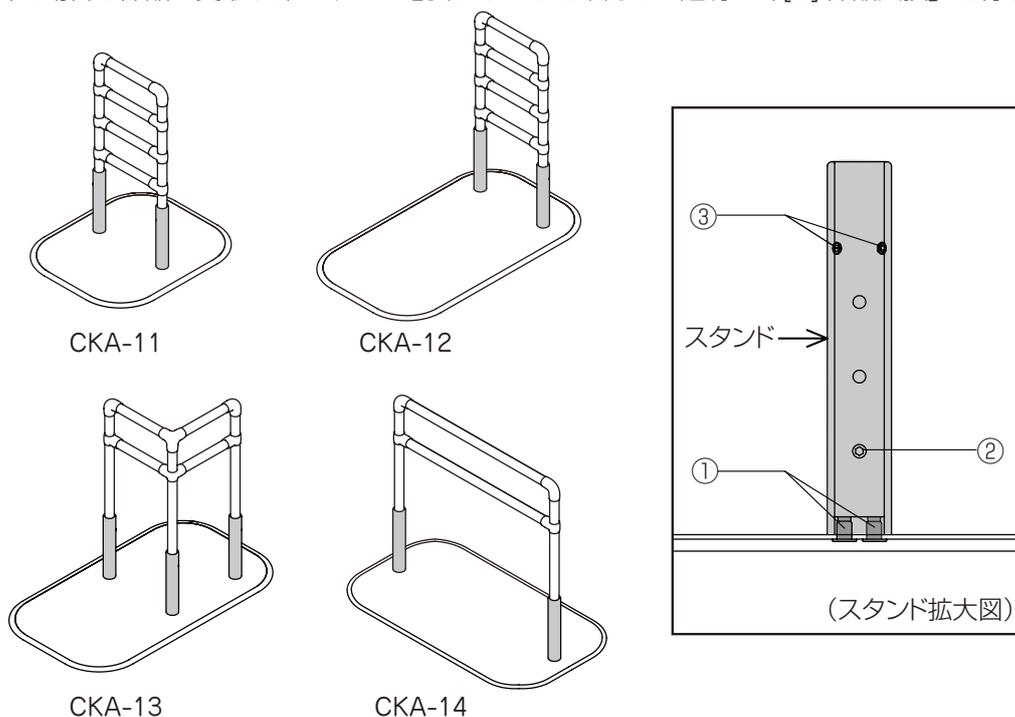
### [1] 拭き取り

- 水か中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭いてください。

<b>⚠ 注意</b>	
 禁止	● <b>酸性・アルカリ性洗剤は使用しない。</b> 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。 必ず中性洗剤を使用してください。
	● <b>シンナー・ベンジンなどは使用しない。</b> 変質して破損するおそれがあります。
 必ず守る	● <b>たわしや磨き粉などで磨かない。</b> 傷がつくおそれがあります。
	● <b>直射日光は避けて、陰干しする。</b>

### [2] ねじのゆるみ点検

- 必要工具：六角レンチ (対辺 5mm)、六角レンチ (対辺 4mm)
- 下図の①②③のねじが指定締付けトルクで締め付けられていることを確認してください。  
ねじがゆるんでいる場合は指定締付けトルクでねじの締め付けを行ってください。  
スタンドにガタつきがないこと、②六角穴付き止めねじ (M10 × 36) と③六角穴付き止めねじ (M8 × 6) のねじ頭がスタンド面から出ていないことを確認してください。
- 指定締付けトルクで締め付けられていてもガタつきがある場合、CKA-11、CKA-12、CKA-14 はフレームを逆に取付けることでガタつきがなくなる場合があります (CKA-13 は逆に取付けることができません)。  
「[7] 手すりフレームを逆に取り付ける」を行ってください。  
それ以外の場合は部品に変形や深いキズ、亀裂がないかを確認し、適切に「[9] 部品交換」を行ってください。



ねじの種類		締付けトルク
①	超低頭ねじ (M10 × 16)	9.8 ~ 11.76N · m { 100 ~ 120kgf · cm }
②	六角穴付き止めねじ (M10 × 36)	6.9 ~ 7.8N · m { 70 ~ 80kgf · cm }
③	六角穴付き止めねじ (M8 × 6)	3.9 ~ 4.9N · m { 40 ~ 50kgf · cm }

<b>⚠ 注意</b>	
 禁止	● <b>指定締付けトルク以上で締め付けない。</b>
	● <b>電動工具 (電動ドライバー等) を使用しない。</b> 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 (ねじの締付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締付け・取外しができなくなる可能性があります。)
 必ず守る	● <b>②六角穴付き止めねじ (M10 × 36) と③六角穴付き止めねじ (M8 × 6) のねじ頭がスタンド面から出ていないことを確認する。</b> ケガの原因になります。

### [3] 取付方法の確認

- 正しく取り付けられているか、「たちあっぴ取扱説明書」で取付方法をご確認ください。  
「たちあっぴ取扱説明書」通りの取付方法でも部品がうまく取りつかない場合には、部品に変形や深いキズ、亀裂がないかを確認し、適切に「[9] 部品交換」を行ってください。

### [4] 錆の除去

- 必要工具：紙やすり（耐水性）（推奨粒度：ひどい錆には #300、それ以外は #1000）  
(1) 紙やすり（耐水性）は使用しやすい大きさに切ってください。  
(2) 錆がひどい場合は最初に紙やすり（耐水性）#300 で錆を取り除いてください。  
(3) ベース面の錆は紙やすり（耐水性）#1000 で取り除いてください。
- 同じところを磨き続けると、その部分だけが軽く陥没することになりますので、注意してください。
- ベースまたはおもし板に変形、深いキズ、亀裂がある場合には「[9] 部品交換」を行ってください。

<b>⚠ 注意</b>	
 必ず守る	● 紙やすり（耐水性）は、使用する商品の取扱説明書をよく確認し作業する。

### [5] 縁ゴムの再接着および交換

- 必要工具：接着剤、カッター、紙やすり（推奨粒度：# 240）
- 推奨接着剤：アロンアルファ EXTRA2000( 東亜合成株式会社製 )  
※弊社メンテナンス部品としては縁ゴム接着剤 (CKA-AI) をご用意しております (P.8 参照)
- 一部の剥がれなど縁ゴムに破損や劣化がない場合は再接着を、破損や劣化がある場合には部品交換を行ってください。  
(1) ベースに取り付いている縁ゴムを取り外し、ベースに残っている縁ゴムと接着剤をカッターで取り除き、接着面の汚れをきれいに拭き取ってください。  
※その際に紙やすり等（推奨粒度：# 240）でベースの縁ゴム接着面をこすすることで、残りの接着剤を取り除くとともにその後の接着力をより向上させることができます。  
( やすりがけを行う際は接着面についた削り粉等をきれいに拭き取ってから接着を行ってください。  
やすりがけをするとステンレス面に多少傷がつきます。接着剤が取れたらやすりがけをやめ、必要以上に削ることがないようにしてください。 )  
再接着する場合は、縁ゴムに残っている接着剤も取り除いてください。
- (2) 取り付ける縁ゴムとベースを接着剤にて接着してください。
- (3) 縁ゴムのつなぎ目も接着剤にて接着してください。
- (4) 養生し、縁ゴムが確実にベースに接着されていることを確認してください。

<b>⚠ 注意</b>	
 必ず守る	● 接着剤は使用する商品の取扱説明書をよく確認し作業する。
	● 縁ゴムを接着したベースは平置きで保管する。 立てかけて保管しますと、縁ゴムに負荷がかかり、縁ゴムが外れやすくなります。

### [6] 塗装面の補修

- 汚れ、油を拭き取り、アクリル系塗料または専用塗料（たちあっぴ塗料 MB、たちあっぴスプレー塗料 MB）で補修してください。  
※専用塗料は「4. メンテナンス部品表」を参照してください。
- 塗装中は、必要に応じてマスクや手袋を着用し、できるだけ皮膚に触れないようにしてください。

<b>⚠ 注意</b>	
 必ず守る	● 屋外または換気の良い場所で作業を行う。 密閉された作業場で行う場合は、局所排気装置を設け、塗装中、乾燥中ともに換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
	● マスクや手袋を着用する。 蒸気吸いこんだり、塗料に直接触れないようにしてください。

### [7] 手すりフレームを逆に取り付ける

- CKA-13 はできません。
- 手すりフレームのガタつきは、六角穴付き止めねじ (M8×6) の締め付けにより、手すりフレームの樹脂部が削れるために生じます。  
手すりフレームを逆に取り付けてください。  
手すりフレームの取り外し・取付方法は「たちあっぴ取扱説明書」をご確認ください。
- 手すりフレームを逆に取り付けてもガタつきがある場合は、部品に変形や深いキズ、亀裂がないかを確認し、適切に「[9] 部品交換」を行ってください。

### [8] マットの洗濯

- メンテナンス部品としてマットを購入すると、マットに折り目がついています。使用するうちに目立たなくなりますが、気になる方は一度洗濯してください。
- マット表面に汚れが付着した場合は、掃除機などで取り除くか、水か中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭き取ってください。
- 上記で汚れが取れない場合はマットを洗濯してください。
- マットを洗濯してもマットが剥がれたり、汚れが落ちない場合は「[9] 部品交換」を行ってください。
- 寒くなると低温による樹脂の硬化や乾燥などの要因により吸着力が弱くなる場合があります。その場合は、ぬるま湯につけて絞った布で拭き、部屋の温度を暖かくすることで吸着力は復活します。

⚠ 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 柔軟剤は使用しない。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 塩素系漂白剤は使用しない。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             塩素系および酸素系漂白剤の 使用禁止           </div> </div>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 乾燥機は使用しない。 変質して破損するおそれがあります。</li> </ul>
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 洗濯機は弱水流で中性洗剤を使用する。 液温は 30℃が限度です。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             液温は 30℃を限度とし、 洗濯機で弱い洗濯ができる           </div> </div>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 陰干ししてよく乾かしてから使用する。 変質して破損するおそれがあります。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             日陰のつり干しがよい           </div> </div>

### [9] 部品交換

- メンテナンス部品は「4. メンテナンス部品表」を参照してください。
- 縁ゴム以外の部品交換の方法は「たちあっぷ取扱説明書」の組立手順を参照してください。縁ゴムの部品交換の方法は「[5] 縁ゴムの再接着および交換」を参照してください。

⚠ 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定締め付けトルク以上で締め付けない。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電動工具（電動ドライバー等）を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 (ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。)</li> </ul>
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 部品交換を行う際は、指定部品を使用する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 部品交換を行った際は、ご使用前にねじのゆるみ、ガタつきがないことを再確認する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期的にガタつき、ねじのゆるみ、締め忘れ、部品の破損がないことを確認する。</li> </ul>

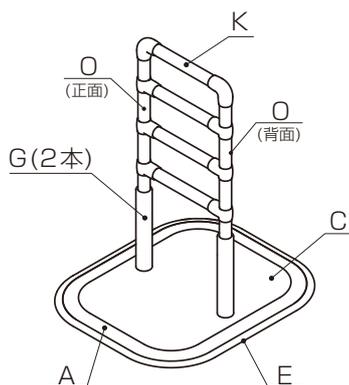
## 3. 消毒方法

- 消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
- アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。消毒後は、仕上げに水拭きをしてください。
- この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。
- 塩素系の消毒液を使用する場合は、使用する消毒液の使用方法及び使用上の注意に従い、希釈して使用し、仕上げに水拭きをしてください。  
(参考: 次亜塩素酸ナトリウム6%水溶液なら120倍~300倍程度に希釈)

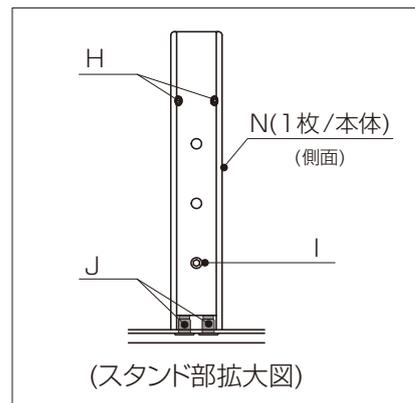
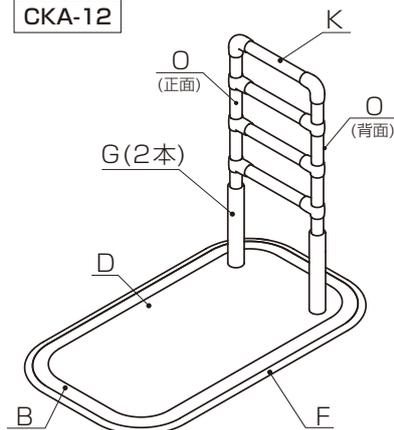
⚠ 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。</li> </ul>
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アルコール系の消毒液や逆性石鹼、塩素系の消毒液が付着した場合は水拭きをし、製品表面に消毒液が残らないようにする。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。</li> </ul>

## 4. メンテナンス部品表

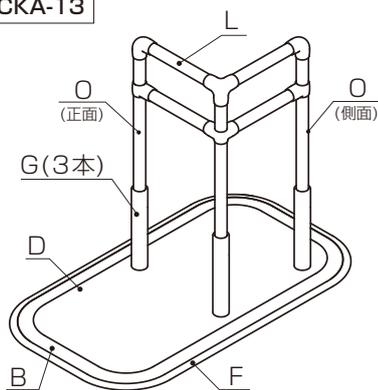
CKA-11



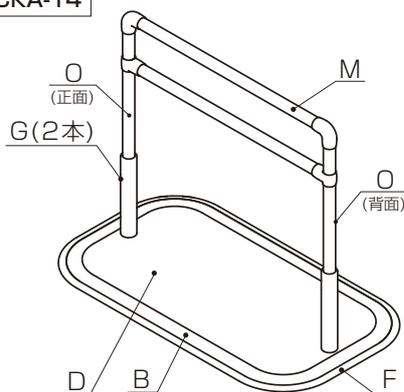
CKA-12



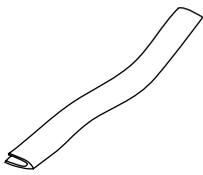
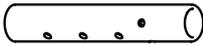
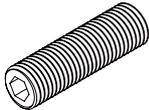
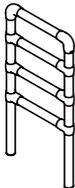
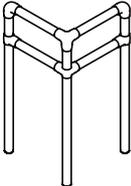
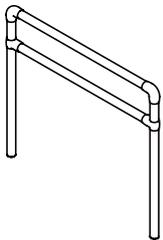
CKA-13

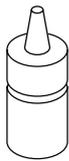
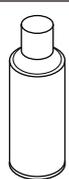


CKA-14



記号	対象品番	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
A	CKA-11	たちあっぷベースD (縁ゴム付)	CKA-AA SUS		ステンレス 縁部：ゴム	1台
B	CKA-12 CKA-13 CKA-14	たちあっぷベースE (縁ゴム付)	CKA-AB SUS		ステンレス 縁部：ゴム	1台
C	CKA-11	たちあっぷマットD	CKA-DAP 5枚		ポリエステル 吸着部：アクリル樹脂	5枚
D	CKA-12 CKA-13 CKA-14	たちあっぷマットE	CKA-DBP 5枚		ポリエステル 吸着部：アクリル樹脂	5枚

記号	対象品番	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
E	CKA-11	たちあっぷ縁ゴム S BR	CKA-ACS 2M 10ｲ		ゴム	2m × 10本
			CKA-ACS 2M 5ｲ			2m × 5本
F	CKA-12 CKA-13 CKA-14	たちあっぷ縁ゴム S BR	CKA-ADS 3M			3m × 5本
G	共通	たちあっぷスタンド SUS (ねじセット付)	CKA-BA SUS		ステンレス	1本
H	共通	六角穴付き止めねじ (M8 × 6)	CKA-BB M8X6		ステンレス	10本
I	共通	六角穴付き止めねじ (M10 × 36)	CKA-BC M10X36		ステンレス	10本
J	共通	超低頭ねじ (M10 × 16)	CKA-BD M10X16		ステンレス	10本
K	CKA-11 CKA-12	手すりフレーム FI4	CKA-FI4		ジョイント：樹脂 パイプ：樹脂被覆スチールパイプ	1台
L	CKA-13	手すりフレーム FL3	CKA-FL3		ジョイント：樹脂 パイプ：樹脂被覆スチールパイプ	1台
M	CKA-14	手すりフレーム FLI3	CKA-FLI3		ジョイント：樹脂 パイプ：樹脂被覆スチールパイプ	1台

記号	対象品番	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
N	共通	注意喚起シール	CKA-GB		樹脂	50 枚
O	共通	注意シール A	CKA-GCA 50枚		樹脂	50 枚
—	共通	たちあっぷ塗料 MB	CKA-AF		アクリル系塗料	1 本 (15ml)
—	共通	たちあっぷ スプレー塗料 MB	CKA-AS		アクリルラッカー	1 本 (300ml)
—	共通	縁ゴム接着剤	CKA-AI		シアノアクリレート	1 本 (20g)
—	共通	六角レンチ (対辺 4mm)	CKA-MH 4M		スチール	5 本
—	共通	六角レンチ (対辺 5mm)	CKA-MJ 5M		スチール	5 本

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

## ● 矢崎化工株式会社

■ 本 社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1

介護支援ページ  
**kaigo-web**

<http://www.kaigo-web.info/>

■ 北海道支店 福祉介護機器課  
〒072-0007 北海道美幌市東 6 条北 8-2-1  
TEL 0126(63)4285 FAX 0126(63)4459

■ 仙台支店 福祉介護機器課  
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷 280  
TEL 022(382)2145 FAX 022(382)1099

■ 関東支店 福祉介護機器課  
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町 88  
TEL 0276(38)1511 FAX 0276(38)3522

■ 東京支店 福祉介護機器課  
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 1-38-3  
TEL 04(2944)7113 FAX 04(2944)7007

■ 神奈川支店 福祉介護機器課  
〒257-0024 神奈川県秦野市名古木 3-4  
TEL 0463(81)4315 FAX 0463(81)4316

■ 静岡支店 福祉介護機器課  
〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1  
TEL 054(286)1101 FAX 054(286)3988

■ 名古屋支店 福祉介護機器課  
〒484-0963 愛知県犬山市宇鶴池 48-2  
TEL 0568(67)0111 FAX 0568(67)7219

■ 大阪支店 福祉介護機器課  
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町 5-1-1  
TEL 072(672)8440 FAX 072(673)8822

■ 広島支店 福祉介護機器課  
〒738-0042 広島県廿日市市地御前 1-7-17  
TEL 0829(36)1111 FAX 0829(36)3890

■ 九州支店 福祉介護機器課  
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚 481-1  
TEL 0948(72)0310 FAX 0948(72)4026

12072211

DW-164-08